

市民のひろば

～明るく 元気な いわき市を目指して～

レポート②

今月号は、市無形文化財に指定されていた「いわき和紙製作技術」の継承に取り組み「遠野和紙」を製作している、市地域おこし協力隊の盛合文子さんに、活動内容などについてインタビューした内容をお伝えします。



盛合文子さん（市地域おこし協力隊）

Q 市地域おこし協力隊に応募したきっかけを教えてください。

以前から、ものづくりに興味があり、専門学校で和紙について学んだので、いわき市に来る前から、和紙製作の仕事に携わっていました。そこで出会った職人の方から、地域おこし協力隊として、遠野和紙の製作技術の継承に取り組む仕事があるという話を伺ったことがきっかけです。その話を聞き、地域の伝統が途絶えないよう、自分の経験を生かし、製作技術を継承したいと考え、応募しました。

Q 具体的な活動内容について教えてください。

就任してからは、地域のボランティアの方々に教わりながら活動しています。遠野和紙は、夏に材料となるコウゾやトロロアオイを栽培し、

冬にその材料を使ってすく、寒すぎという方法で製作します。材料となる植物の栽培から紙すきまで一連の流れになっているので、一つ一つの作業の善しあしが紙の仕上がりに影響してきます。

夏は下草刈りなど、コウゾ畑の管理を行い、冬になるとコウゾを刈り取り、和紙の材料を作ります。現在は、この作業と併せ、紙すきに取り組んでいるところです。

遠野和紙は寸法が決まっており、全紙と呼ばれる大きさのものを、遠野和紙と呼びます。全紙をすくための道具は重く、全体を均一に仕上げるのは難しいですが、良い紙が作れるよう日々頑張っています。

Q いままでの活動を通してどのようなことを感じましたか。

地域の方々に教わりながら活動し



地域の方と一緒にコウゾの剥皮作業

ている中で感じたことは、多くの方が遠野和紙を身近なものとして感じ、大切にしているということです。

遠野和紙は、遠野地区の小・中学校、高校の卒業証書に使われています。地域の皆さんが親しみをもち、大切にしているのを目の当たりにし、早く遠野和紙の製作技術を身に付けたいと、強く思いました。

Q これから取り組んでいきたいことや抱負をお願いします。

まずは、地域の方々の期待に応えられるよう、一日も早く遠野和紙の製作技術を身に付け、伝統を守っていききたいです。また、地域の方が作っている、和紙を使った行灯なども一緒に製作し、イベントなどを通じて、多くの方に遠野和紙に興味を持ってもらえるよう、魅力を発信していきたいです。



全紙の紙すきに取り組む盛合さん

いわきの五十年を振り返る

三和町上市萱



かつて街道筋として栄えた三和町上市萱の集落【昭和54（1979）年12月、いわき市撮影】



三和町上市萱の現在【平成26（2014）年10月 いわき市撮影】

磐越自動車道や国道四十号の幹線道路から外れた、三和町上市萱の市道二百メートルの間に沿って、短冊型に区画された二十軒ほ

どの家屋が並んでいます。江戸時代には仙道五駅の一つに数えられ、上市萱と上三坂の間では、険しい長沢峠を通らなければならなかったため、上市萱は峠を降りてきた者には一息つける場

所、峠越えをしようとする者にとっては、入念な準備をする場所として、重要な宿場機能を備えていました。家々には、今でも「問屋」「澤太屋」「叶屋」「恵比寿屋」などの屋号が付けら

いわき市は本年十月に、市制施行五十周年を迎えます。本市のこれまでの歩みを、市内各所の過去と現在の写真を比較し、エピソードを交えながら振り返ります。

れています。

かつては、重厚なかやぶき屋根が並んでいましたが、昭和四十年代以降、相次いで瓦屋根にふき替えられて、平成六（一九九四）年を最後に、かやぶき屋根が上市萱から姿を消しました。屋根の形は変わり、世代が交代していますが、集落全体でみると、ほとんど変わらないたたずまい。特に新道の開通以降、上市萱の旧宿は静かな歳月を刻んでいます。

（いわき地域学会

小宅幸一）

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）までご連絡ください。

1月19日(火)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久浜・大久
地上1m	0.093	0.036	0.042	0.054	0.043	0.049	0.050	0.056	0.052	0.048	0.063	0.062	0.114
市民サービスセンター	中央台	豊間	泉	測定時刻：9時 単位：マイクロシーベルト/時 出典：原子力規制委員会ホームページより									
地上1m	0.066	0.096	0.050	モニタリングポストは、マイクログレイ/時で測定されていますが、本表では1マイクログレイ/時=1マイクロシーベルト/時と換算して表示しています。 ※久之浜・大久支所は、改築工事のため、当面、久之浜西公園での測定値を掲載します。									

※過去における測定値、平成22年度の市内の状況については、0.04～0.07マイクロシーベルト/時で推移していました。（福島県ホームページより）

水道水の放射性物質の測定結果 水道局では、市内全12浄水場の水道水を週3回（法田第一ポンプ場・旅人浄水場・上遠野浄水場は週1回）検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出（1ベクレル/kg未満）であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口（県設置窓口） ☎0120-988-359 平日：8時30分～18時15分 土日祝：8時30分～正午